

激動の世紀を越えて
2001年

太田市医師会創立40周年記念誌

太 田 市 医 師 会

資料「医会紀事」

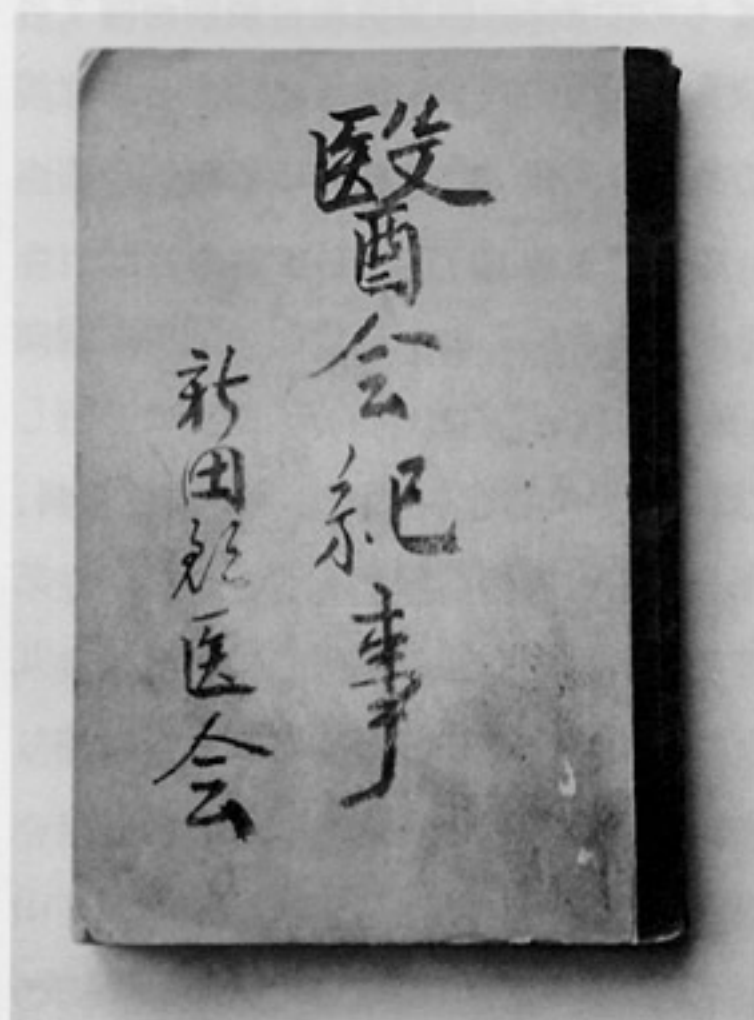
解題

体裁と性格

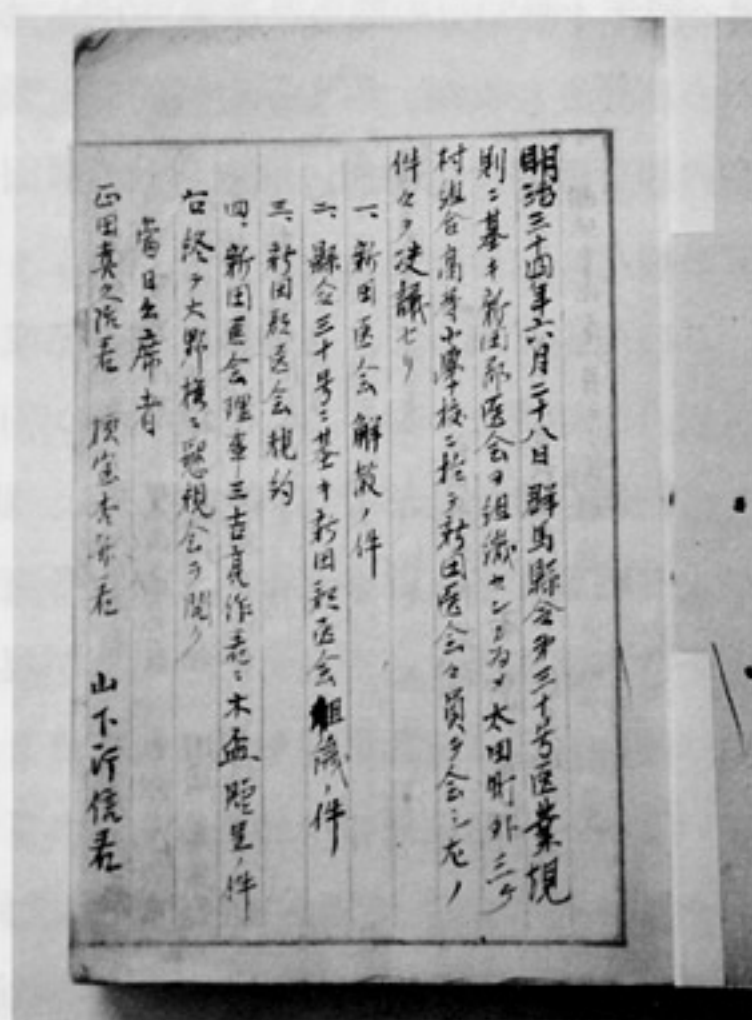
医会紀事（以下紀事と称す）は、本島自柳（庵貞）氏の手になる記録であり、体裁はB5版の中本で、片面12行の青罫紙が用いられ、袋綴じにされている。全部で98丁であるが、最後の11丁は白紙である。明治34年（1901）6月28日に始まり、後半は記述が断片的になるが昭和13年（1938）まで書き継がれている。表紙は白厚紙で医会紀事と新田郡医会と書かれ、黒色の布で背表紙がつけられている。

本紀事は自柳氏の私家版のようにみえるが、表紙に新田郡医会とあることからやや公的な性格の記録といえよう。そして表紙に新田郡医会と書かれたことに表徴されるように、この紀事がまさに新田郡医会の発足にあたって記述され始めたのである。すなわち、その冒頭に

明治三十四年六月二十八日群馬県令第三十号医業規則ニ基キ新田郡医会ヲ組織セン
カ為メ太田町外三ヶ村組合高等小学校ニ於テ新田医会々員ヲ会シ左ノ件々ヲ決議セリ



「医会記事」表紙



冒頭の頁

- 一、新田医会解散ノ件
- 二、県令三十号ニ基キ新田郡医会組織ノ件
- 三、新田郡医会規約
- 四、新田医会理事三吉亮作君ニ木盃贈呈ノ件

とある。議題の一は、新田医会解散ノ件であるから、これ以前に新田医会が存在したわけであるが、この創立にかかわる資料はなく、岡友作氏を社長とする修齋社の記録類から新田医会は明治26年（1893）には存在していたこと、会費は月額10銭、理事に本島綾三郎、三吉亮作、および修齋社の岡友作か岡太仲らがなっていたと推測されるのみである（『太田市史 通史編 近現代』）。

新田郡医師会前史

ところで、新田医会以前の群馬県ならびに新田郡医師会の草創期の状況について、丸山清康『群馬の医史』によりつつ、「群馬県医業組合本支部医会役員及本部医会議員姓名録」という1枚ものの刷り物（『太田市医師会史編纂だより』第7号に掲載）を交えてふれておきたい。

群馬県医師会の創立は、明治39年（1906）であるが、それに先立つこと19年前の明治20年に「群馬県開業医組合」が設立された。これは自然発生的にできたものではなく、同年4月23日の群馬県達第110号にもとづくものである。開業医組合規則が同7月から施行されたが、第1条の目的は、医風の改良・医術の進歩、医事に関する法律規則の履行順序、伝染病・地方病等の原因・予防救治、公衆衛生に係わること、の四点であった。

この規則に則って、各地域で支部結成の動きがみられ、これが結集して群馬県開業医組合の結成につながる。このときの県内の医師総数は517名というが、創立に参画した当初組合員は全部で481名であった。組合役員については、規則第6条で本部役員、つまり総理1名、幹事若干名、また各支部に部長1名、幹事若干名を置くことが、第7条で本部に議員若干名を置くことが規定されている。創立時の役員については、丸山は組合総理に山崎泰輔が推されたこと、翌々年に斎藤寿雄に代わったことを記述しているが、他の役員については、ふれていない。

さて、「群馬県医業組合本支部医会役員及本部医会議員姓名録」によれば、総理が山崎とあるので、創立時の役員と議員であると断定できよう。若干名とあった本部幹事・支部幹事はともに各2名であり、27名の組合員で結成した新田郡支部では、支部長に

三吉亮作、幹事に岡太仲と本島自柳が選出された。また、支部組合員中から選挙された議員は5名以内と規定されたが、新田郡の議員には田村英俊・栗原源十郎・岡太仲が選出された。岡太仲は支部役員と議員を兼務したことがわかる。この群馬県医業組合新田郡支部が新田医会につながるものであろうが、先述したように創立の時期は特定できない。

新田郡医会の設立

紀事冒頭の議題2は、本来の目的である新田郡医会の組織である。高等小学校を会場に出席者は正田喜久治、横室杏齋、岡友作、三吉亮作、本島自柳等16名であった。ここで新田郡医会の設立が決定され、議題3の規約（会則）が議決された。終了後太田町の大野楼で懇親会を催している。

議題4で、新田医会理事三吉亮作に木盃を贈呈することにしたのは、理事として新田医会への尽力に対する謝意をあらわしてのことであろう（実際には、翌9月24日第1回定期総会の臨時会の決議によって贈られた）。

同年8月20日、群馬県知事から新田郡医師総代本島自柳あてに、7月3日付で申請のなされた新田郡医会々則を認可する旨の指令が届く。これをうけて、翌9月24日木崎町において新田郡医会第1回定期総会が開催され、会則変更・議事細則が議決された。終わって近野楼に懇親会を開く。新田郡医会の役員は、会長（本島自柳）、副会長（1名）、幹事・評議員（若干名）、連合医会代議員（黒田孝蔵・三吉亮作）であった。会員総数について設立時のものは確定できないが、設立1年以内に紀事に散見される者は28名に達する。明治36年6月県連合医会あての会員名簿には、会員27名、同年10月秋期郡医会の報告では、現在会員26名とある。

新田郡医会の活動

新田郡医会は、発足後は多方面にわたる活動をなしている。

第一に、新田郡医会は群馬県令医業規則に基づいて設立された組織であるから、発足後しばらくは県との関係がやや詳細に記述されている。明治34年11月24日県連合医会創立総会が開催される。その前に協議会がもたれ、本島自柳等が出席した。

県連合医会では、結核・癩病・トラホーム予防に関する両院への請願、医薬分業への反対運動、大日本連合医学会入会の件、種痘法についての講話及び実習、赤痢予防注射、ペストに関する諮問等が短期間に順次決議、あるいは施行された。医療活動の

みならず、医業分業への反対運動など政治的な活動もなされていたのである。

これら県連合医会の活動と意向をうけて、新田郡医会は各種の予防医療活動に従事している。臨時会で結核・癩病・トラホーム予防に賛成し、また明治35年（1902）4月には、郡役所楼上において19名の会員が種痘法の講話と実習を行っている。さらに赤痢予防注射に関しては、同年6月18日県の評議会の議決をうけ、同月30日新田郡医会評議員会も議決し、7月3日には直ちに笠懸村で医師7名が担当して予防注射を実施している。その後9月6日まで13回にわたって新田郡全域で予防注射を行っているが、8月18日木崎町大字中井田村発生地での予防注射人員はほぼ100人であったという。また明治38年（1905）7月には、県連合医会の諮問をうけて臨時郡医会を開き、緊急にペスト講話会を開催し会員が積極的に講話することを決議し、住民の衛生意識の啓発に努め、また十二指腸虫調査表を各会員に配布し、さらに郡長の腸チフス予防の諮問にも答えたり、多方面にわたって活動した。

新田郡医師会の成立

明治39年に発布された医師法は、医師は医師会を設立することができる旨の任意設立を含むものであったが、医師会を法的に裏付ける最初の法律であった。医師会は任意設立とはいふものの、内務大臣の制定した医師会規則では、一度法的に郡市医師会が成立すれば、医業従事の医師はすべて所在地の郡市医師会に加入が強制された。

本法律に依拠して明治40年2月20日、医師会設立に関する協議会を開き、医師会の設立と会則を決議した。同月県令第8号によって施行規則が定められており、各郡市でも医師会と群馬県連合医師会の成立をみることになるが、新田郡医師会では岡文造ほか11人が設立発起人として設立願を申請し、3月14日に群馬県知事からこれを認可する旨の通知が届く。法的根拠を有する太田医師会の原点である。

紀事の記述は内務省との関係、つまり警察との連携に関し、とくに公衆衛生予防の記事が散見されるようになる。以後、紀事の記述者である本島自柳の新田郡会議員、県議会議員の当選による政界への進出、また新田郡医師会長、日本医師会代議員等の医学界の公職、さらには実業界での足跡など、多方面で活躍する。したがって、紀事の精粗まちまちになるが、昭和13年（1938）まで書き継がれている。

いずれにしても太田医師会を語るとき、本紀事が第一級の基本史料であることはいうをまたない。末筆ながら紀事の借覧をおゆるしいただいた本島自柳氏に深甚なる謝意を表する。

凡 例

- 1 原文は写真の通り縦書きであるが、本書の体裁から横書きに改めた。できるだけ原文に忠実に翻刻したが、正字に改めたところもある。
- 2 横書きに体裁を改めたので、文中の漢数字はすべて算用数字に改めた。
- 3 判読不能の箇所は□で示した。また読点・並列点を適宜施した。
- 4 編者が施した注は()に入れた。「ノ」は「して」の意であり、カタカナ表記「シテ」とした。

(表紙)

「醫 会 紀 事

新 田 郡 医 会」

明治34年6月28日群馬県令第30号医業規則ニ基キ、新田郡医会ヲ組織センカ為メ、太田町外三ヶ村組合高等小学校ニ於テ新田医会々員ヲ会シ、左ノ件々ヲ決議セリ

1. 新田医会解散ノ件
2. 県令30号ニ基キ新田郡医会組織ノ件
3. 新田郡医会規約
4. 新田医会理事三吉亮作君ニ木盃贈呈ノ件

右終テ大野楼ニ懇親会ヲ開ク

当日出席者

正田喜久治君	横室 杏齋君	山下 行信君	岸 盛三郎君	岩崎 三平君
岡 友作君	三吉 亮作君	黒田 孝蔵君	武藤省三郎君	深沢 範作君
島野 享君	川田 義成君	永山 見龍君	木村 玄体君	小林道三郎君
本島 自柳君				

指令衛第2663号

新田郡医師総代

本 島 自 柳

明治34年7月3日新田郡医会々則ヲ認可ス

明治34年8月20日

群馬県知事 関 清 英団

明治34年9月24日午後1時木崎町ニ於テ新田郡医会第1回定期總會ヲ開キ左件ヲ議定ス

1. 会務ノ報告
2. 新田郡医会々則変更ノ件
3. 議事細則

出席者

永山 見龍君	武藤省三郎君	島野 享君	深沢 範作君	三吉 亮作君
岡 友作君	川田 義成君	永山 宮平君	横室 杏齋君	正田喜久治君
本島 自柳君	黒田 孝蔵君			

本日臨時会ノ決議ニヨリ三吉君ニ木盃ヲ贈与シ、終テ近野楼ニ懇親会ヲ開ク

關新田郡長、高木郡書記、熊御堂警部ノ臨場アリタリ

11月14日 聯合医会協議会ヲ前橋市県會議事堂ニ開キ警部長ノ召集ニヨリ本島自柳出席ス

11月20日 郡医会評議員会ヲ開キ

(場所) 新田郡太田町大野楼

(出席者) 正田喜久治君 横室 杏齋君 永山 見龍君 川田 義成君
 黒田 孝蔵君 三吉 亮作君 武藤省三郎君 本島 自柳君

(議題) 聯合医会出席代議員撰定ノ件

當撰 黒田 孝蔵君 三吉 亮作君

明治34年11月24日午前10時30分群馬県聯合医会創立ニ関シ、前橋市役處楼上ニ協議会ヲ開ク、次テ第1回總會ヲ開会ス、本郡医会ヨリハ代議員黒田孝蔵君、三吉亮作君及会長本島自柳出席ス、此總會ニ當リ特ニ筆スベキハ吾代議員ノ尽力ニヨリ聯合医会ヨリ旅費・宿泊料ヲ支給スルノ件ヲ可決セル事之ナリ

明治35年1月25日 県聯合医会経費負擔額ヲ送致ス

明治35年2月4日 斎藤寿雄君ヨリ結核・癩病・トラホーム豫防ニ関スル請願書ヲ貴・衆兩院ニ提出スルニヨリ、吾郡医会々員ニ同意ヲ申来リタルヲ以テ郡役處楼上ニ臨時会ヲ開キ、賛否ヲ協議シ、會員全体賛成スル決議セリ、当日出席者左ノ如シ

木村 玄体君 横室 杏齋君 山下 行信君 黒田 孝蔵君 川田 義成君
 栗原 隆策君 三吉 亮作君 深沢 範策君 本島 自柳

右9名ノ他請願書ニ賛成捺印セシモノ左ノ如シ

岡 太仲君 本島 柳翁君 永田 ^(恭)□庵君 岡 友作君 永田 泰平君
 高木要二郎君 武藤 道齋君 武藤省三郎君 越塚 栄久君

2月23日 県聯合医会々長衆議院議員斎藤寿雄君ヨリ薬品取扱規則35号改正案ハ、医薬分業案ノ変名案ナルヲ以テ之カ反対ノ運動ヲ開始セント、鍋屋ニ有志会ヲ開会セリ、事重大ナルヲ以テ本会ノ事業トシ、会長・副会長事故アリタルヲ以テ川田幹事前橋鍋屋ニ出頭シ有志会ノ議ニ加ハリ、共ニ其反対運動ヲ為ス事ヲ約セリ

3月30日 知事諮問案及12議案ヲ議定センカ為、前橋市市役所楼上ニ於テ、聯合医会總會ヲ開ク、本島評議員及三吉代議員出席ス

4月2日左ノ通牒アリタリ

群馬県聯合医会ニ関スル往復書類ハ自今前橋市萱町31番地中村方斎藤寿雄宛ニテ発送セラレタキ事

群馬県聯合医会

4月18日 群馬県聯合医会總會ノ決議ニ基キ聯合医会々長斎藤寿雄君、内務省痘苗製造所種痘主任佐藤信直君、本部医会会^(マ)ニ出張シ種痘法ニ就キ講話及実習ヲ為セリ(会場ハ郡役所楼上ニシテ当日出席セル會員ハ左ノ諸氏ナリキ)

岩崎 三平君 栗原 隆策君 川田 義成君 永山 見龍君 永山 宮平君
 木村 玄体君 高木要二郎君 山下 行信君 横室 杏齋君 栗原 豊作君
 黒田 孝蔵君 武藤 道齋君 小川 清翁君 岡 友作君 三吉 亮作君
 塚越 栄久君 本島 自柳君 正田 政治君 深沢 範作君

6月18日 赤痢豫防注射ニ関シ聯合医会評議會ヲ前橋市鍋屋ニ招集ス、本島自柳之ニ臨ム

- 6月30日 新田郡医会評議員会ヲ赤痢豫防液注射ニ関スルノ手續ヲ議決セリ
出席者 役員 黒田、三吉、川田、永山見龍、本島
評議員 岡友作、武藤省三郎
- 7月3日 評議会ノ決議ニ基キ赤痢発生地笠懸邨ニ注射ヲ施ス
本島、三吉、岡、武藤、黒田、栗原、深澤ノ七氏之ヲ擔當ス
- 7月6日 北里博士巖父薨セルヲ以テ弔文ヲ郡医会ノ名義ヲ以テ発ス
- 7月25日 太田町真砂座ニ於テ豫防注射ヲ行フ
出席者 三吉、岡、本島、川田、黒田、永山見龍、永山宮、岩崎、栗原隆策、横室、
小川清翁、正田、深沢、武藤
- 同 29日 同所ニ於テ第2回注射ヲ行フ、此日新ニ注射ヲ希望スルモノ30人
- 8月2日 同所第2回注射ヲ行フ
- 8月3日 鳥之郷村大字鶴生田村赤痢発生地ニ於テ豫防注射ヲ行、注射人員61名 三吉、武藤、本島擔任ス
- 8月7日 同所ニ第2回注射ヲ行フ、武藤、本島擔任
- 8月18日 木崎町大字中井田村発生地ニ豫防注射ヲ行、注射人員略100人
川田、三吉、本島擔任
- 同 21日 同所ニ第2回注射ヲ行
- 同 21日 綿打、生品2村ノ人民略73人ニ注射ス、黒田、小川、永山、永山、本島擔任
- 同 24日 第2回ヲ同所ニ行、永山両君、黒田、小川君擔
- 8月26日 尾島、世良田、宝泉一部ノ人民ニ尾島町役場ニ於テ注射
横室、山下、三吉、本島臨場
- 同 30日 第2回注射同所ニ行、三吉、山下之ニ臨席
- 9月3日 藪塚、強戸、笠懸ノ人民ニ行、場所ハ藪塚、栗原、木村、本島擔
- 同 6日 同所ニ第2回ヲ注射ス
- 10月12日 木崎町役場ニ於テ群医会定期總會ヲ開キ、左件ヲ議定ス
会務ノ報告、會計報告
薬価規定ニ関スルノ件、県聯合医会ニ地方税ヲ以テ補助ヲ請求スル事ヲ聯合医会ニ提出
スルノ件
出席者
深沢 範作君 栗原 豊作君 惣川征二郎君 黒田 孝蔵君 永山 見龍君
川田 義成君 武藤省三郎君 正田喜久治君 岸 盛三郎君 横室 杏齋君
本島 自柳君 三吉 亮作君
- 11月30日 前橋市鍋屋ニ於テ聯合医会評議員会ヲ開キ、本島自柳出席ス
- 11月29日 新田郡医会臨時会ヲ大野屋ニ開ク
出席者 黒田、川田、永山、横室、岩崎、三吉、深沢、武藤、本島、栗原

36年4月16日 於新田郡役處樓上ニ於テ定期總會ヲ開ク

岩崎 三平君 武藤省三郎君 永山 見龍君 三吉 亮作君 正田喜久治君
 深沢 範作君 本島 自柳 横室 杏齋君 栗原 豊作君 岡 友作君
 黒田 孝蔵君 岸 盛三郎君

会務ノ報告ヲ為シ、岸盛三郎君ヨリ尾島町阿久津ニ非医者ノ件ニ就キ動議ヲ提出セルモ、
 法律上制裁アレハ医会ノ問題ト為スノ価値ナシ、只行政警察ニ注意ヲ与フル事トナセリ

6月22日 県聯合医会ニ宛會員名簿及役員名簿ヲ調達セリ、會員27名、出張所1名

明治36年秋期郡医会

(開会日) 明治36年10月22日

(場 処) 木崎町近野屋

(出席者) 岡友作君、三吉亮作君、本島自柳君、川田義成君、横室杏齋君、正田喜久治君、
 永山見龍君、同宮平君、深沢範作君、栗原豊作君、栗原隆策君

(会務報告、会計報告)

會員移動、現在會員現時26名

同仁会ノ件

(議 題) 役員選挙

重任ニ決ス、代議員河田義盛君、三吉亮作君ヲ選挙ス

大日本聯合医学会入会ハ郡医会ノ団体ヲ以テ県聯合医会ニ臨ミ入会ノ可ナルヲ主張ス
 ベキ事ニ決議ス

故岡太仲君ニ追悼ノ意ヲ表スル為、壹円以上三円以下ノ物品ヲ寄送シ、山下君ノ伝染
 病ニ患リシ難ニ同情ヲ表セシカ為又物品ヲ呈スル事ヲ決議ス

36年10月25日 県聯合医会定期会ヲ前橋市ニ開ク、吾郡医会ヨリ三吉亮作君出席ス

1. 37年2月27日付肺結核豫防ニ関スル内務省令并之ニ関連セル本県ノ告諭及度量衡取
 締規則ノ配布アリ

1. 同日付ヲ以テ會員中日露開戦ニ際シ召集入隊又ハ赤十字救護員トシテ従軍セラレタ
 ル者ノ家族ニ対シテハ聯合医会ヨリ慰問状贈呈スベキ旨申越サレタリ

37年4月29日 岡太仲君ニ香花料3円ヲ呈ス

〃 30日 山下行信君ニ慰問料3円を呈ス

37年4月30日 於新田郡役所定期会ヲ開ク

出席者

武藤省三郎君 三吉 亮作君 深沢 範作君 岡 友作君 山下 行信君
 本島 自柳 中村^(男)三郎君 黒田 孝蔵君

1. 会務報告

1. 会計報告

議定事項

出征軍人遺族施療ノ件

右終テ巴楼ニ懇親会ヲ開ク、郡長・高木郡書記モ加会

38年6月11日 県聯合医会開会、黒田、本島出席ス（ペスト諮問案）

38年7月9日 ペスト病豫防講話会開設ノ件、緊急ヲ要スルヲ以テ新田郡役所楼上ニ臨時郡
医会開設ス

出席者

栗原 三郎君	永山 宮平君	武藤省三郎君	岡 友作君	横室 杏齋君
正田喜久治君	木村 玄体君	永山 見龍君	川田 義成君	山下 行信君
深沢 範策君	黒田 孝蔵君	木村 静君	三吉 亮作君	本島 自柳君

開会時 午後4時

決議事項1. 新田郡長ヨリ依頼セラレタルペスト講話会ニハ会員ハ奮テ出席講話スル
事

2. 伝染病ニ関スル前年ノ規約ハ有効ニシテ□勵行スベキ事

3. 十二指腸虫調査表ヲ各会員ニ配布スル事

ペスト豫防講話会日割及出席者

(月 日)	(会 所)	(集合町村)	(出演者)
7月11日	太 田 町	太田、九合、沢野、鳥之郷	岡友作君、三吉亮作君、木村玄 作君、武藤省三郎君、本島
7月12日	尾 島 町	尾島、世良田、木崎、宝泉、 綿打一円	栗原三郎君、木村静君、木村玄 体君、横室君、山下君、本島
7月13日	藪塚本町	藪塚本町、強戸、生品、綿打 一円	黒田君、武藤君、木村玄君、本 島
7月14日	笠 懸 邨	笠懸邨	木村玄体君、栗原豊作君、黒田 君

8月4日 木崎町学校ニ於テ臨時医会ヲ開キ、澄川技師ヲ聘シ、ペスト講話会ヲ開キ、終テ
新田郡衛生事務講習ノ各町村長等ト慰労会ヲ小野田茂平ノ別荘ニ開ケリ

明治38年10月31日 定期医会開会

会 場 木崎町近野屋

出席会員 栗原三郎君、金井勘十郎君、武藤省三郎君、深沢範作君、永山見龍君
永山宮平君、黒田孝蔵君、永田泰平君、木村静君、三吉亮作君、川田義成君
本島自柳君、正田喜久治君

議 題

1. 会務報告

1. 役員改選

決 議

1. 会長、副会長、幹事、代議員重任

評議員 山下行信君、栗原三郎君、岩崎三平君、深沢範策君、武藤省三郎君
正田喜久治君、木村玄体君、長山宮平君

2. 答申書

明治38年10月30日付、腸室扶斯豫防ニ関スル御諮問ハ本会々員ノ正ニ務ムベキ責任ト信
スルヲ以テ、特ニ軍隊凱施ノ今日ニ於テハ奮テ之ヲ励行スルコトヲ期ス、而シテ一面各
町村ノ衛生組合ヲ督励シテ伝搬ヲ未発ニ防クノ施設ヲナサシメ、相俟テ円滑ニ機関ヲ運
転スルノ必要ヲ認ム

右答申候也

明治38年10月31日

会長印

新田郡長宛

明治39年7月3日 総会開会

場所 新田郡役所

会員出席者

岩崎 三平君	岡 文造君	金井勘十郎君	武藤省三郎君	黒田 孝蔵君
栗原 三郎君	栗原 隆策君	深沢 範策君	岸 盛三郎君	
正田喜久治君	木村 静君	三吉 亮作君	本島 自柳君	

1. 会務報告

2. 新田郡長ヨリ学校ニ於ケル顆粒性結膜炎ニ対スル豫防方法諮問

3. 薬価・手術料ニ関スル規約改正

明治40年2月20日 新田郡医師会設立ニ関シ本郡内開業医ノ協議ヲ開キ、医師会ヲ設立スル
ノ件及同会則ヲ決議セリ

明治40年2月27日附ヲ以テ設立ノ件認可セラレタリ、其写左ノ如シ

衛第1014号

新田郡医師会設立発起人

医師 岡 文 造 外11人

明治40年2月27日付新田郡医師会設立願ノ件認可ス

明治40年3月14日

群馬県知事 有 田 義 資

明治43年6月9日於大野屋郡医会役員会ヲ開ク

岡文造、三吉亮作、武藤省三郎、深沢範策、永山見龍、本島自柳出席、東北医師聯合大
会ノ件ニ関シ協議セリ

明治43年7月11日 前橋市市会議事堂ニ於テ県医師会開会、本島自柳、黒田孝蔵、三吉亮作、
栗原三郎4氏出席

明治43年7月15日 県医師会3月中ノ決議録及会員名簿及マラリヤ調査ニ関スル書面ヲ各会

員ニ発送セリ

明治43年4月15日 於新田郡役所田村技師及勾坂技師ヲ聘シ、606号及薬局整理ニ対スル注意

ニツキ講話ヲ開キ、終テ城見館ニ懇親会ヲ開催セリ、当日出席者左ノ如シ

岡 文 造 岡 友 作 小沢忠三郎 三 吉 亮 作 竹内規矩三

本 島 自 柳 栗 原 三 郎 横 室 勘 十 岩 崎 三 平 木 邨 静

正田喜久治 永 山 見 龍 永山健次郎 栗 原 隆 策 武藤省三郎

深 沢 範 作 碓 氷 豊 次 小 菅 貞 雄 荒 木 之 資 黒 田 孝 蔵

来賓席 横尾郡長 河合郡書記 清水警察署長 斉藤邨長

講師 田邨衛生課長 勾坂技師

午後6時終テ懇親慰労会ヲ城見館ニ而催ス

席上関東北医師会記念品ヲ各会員ニ頒布ス

明治44年5月26日県医師会總會頼末印刷物及6月現在医師調査用票ヲ配布ス

明治44年5月30日於大野屋評議員会開会、出席者左ノ如シ

黒 田 孝 蔵 三 吉 亮 作 栗 原 三 郎 岡 文 造 岩 崎 三 平

永 山 見 龍 武藤省三郎 本 島 自 柳

協議事項

県知事ヨリ医師会ニ提出セル諮問及医師会ヨリ知事及内務大臣ニ（余白）

6月2日

県医師会役員会アリ、会長本島自柳出席、黒田君県医師会理事トシテ出席

6月4日

関東北医師会ヨリ開期ノ通知ニ接セリ

6月6日

水害地会員ニ總會決議ニ基キ感謝状ヲ送ル

6月6日

会員清水君ヨリ出張所廃止ノ届出アリ

6月10日

県警察部ヨリ医師会施療ノ件ニツキ照会アリ

6月21日

医師会各会員ニ現行法規予防ノ件ト関東北医師会及薬剤会ヨリ施療ノ件ニ照会及通知状ヲ
発送セリ

8月5日

4日午後5時大旋風、世良田邨大字平塚・米岡ニ起リ負傷患者20有名トノ報ニ接シ三吉理
事ト見舞フ

10月22日

関東北医師会宇都宮ニ於テ開会

出席者 本島自柳 黒田孝蔵 栗原三郎 武藤省三郎 永山健次郎
正田喜久治 永山見龍

3月12日

医師会定期総会開会

3月18日

総会順末及腸室扶斯諮問案答案ヲ提出ス

45年11月5日 済生会乗車券50枚ヲ各会員ニ配布ス

太田町会員 7名ニ1枚ツ、 7枚

在ノ会員 21名ニ2枚ツ、 42枚

残余ノ分 予備 1枚

木邨、服部退会ノ為会員28名ナリ

大正5年7月25日 世良田・尾島聯合衛生展覧会ヲ本日ヨリ3日間開設セルヲ以テ、之カ説明方ヲ郡長ヨリ依頼アリタリ

7月26日 県医師会総会ノ通知ヲ代議員三吉君及岡君ニ為セリ

7月29日 午後1時県議会議事堂ニ於テ臨時総会開会

午前10時50分発ニテ三吉、岡兩氏ト出橋出席

午後7時20分前橋発ニテ帰^(宅カ)□

此日議題ハ済生会救療手続ヲ簡単ニスル事ヲ知事ニ建議スルノ件及陸軍省ヨリ薬品払下ニ関スル件ニシテ兩案共原案通り可決

8月27日 新田郡書記川合氏ヨリコレラ流行ニツキ衛生会ヨリ予防注意書ヲ郡民^(マ)ニ一般ニ配布スベク其原稿ニツキ請求ヲ受ケタリ

9月7日 コレラ流行ニ際シ医師会員ハ、真性ハ勿論之ニ疑ハシキ患者ヲ診察シタルトキハ、成規ノ届出ヲ為スニ先タチ、予メ所在地ノ警察官ニ内報セラレタキ旨、警察署長ヨリ報告有之、其通知書ヲ各会員ニ葉書ニテ通報セリ

9月12日 郡医師会員ニ宛テ関東北医師会ニ関スル件及衛生会展覧会ニ関シ設備及説明ニ尽カスベク印刷物ヲ郵送セリ

9月18日 残暑甚シク近年稀ナリ、本日ニテ九〇日

コレラ病予防ニ関スル注意及清潔法及予防法ニツキ各会員ニ印刷物ノ配布ヲ為セリ

9月11日附ニテ新田郡長ヨリ衛生展覧会ノ件ニツキ依頼状アリタリ

9月18日

1. 岡治道入会ノ件
2. 警察共済生命保険ノ件(知事)
3. 特別当座預金帳 9□75
4. 警察共済生命保険(県医師会長)
5. 大日本医師共済生命保険

大正6年度報告事項

8月12日付 共済会保険ニ関スルノ件

8月25日付 郡医師会負担金督促ノ件

8月3日付 衛生病院ヨリ講話報酬トシテ金円(13円贈呈ノ件)

報告1. 上毛新聞年賀広告料 領収証

2. 碓氷寛治入会ノ件

岡治道入会ノ件

3. 永田泰平氏開業届ノ件(出張)

4. 大日本医師会ヨリ内務大臣諮問ニ対スル答申ノ件、並ニ流行□□予防対策ニ関スル件、答(県医師会、11月10日)

5. 警部補巡査、消防手共済組合ヲ組織スル件(警察部9年10月4日)

6. 邑楽

大日本医師会ヨリ県医師会ニ対スル諮問(12月9日群馬県医師会)

○細民衛生ニ関スル件

○医師分布ニ関スル件

共済生命保険社報告 綴込

大のやノ会計 5月7日分受取ニ綴込ム

大正11年

4月7日 木崎町ニ於テ観桜会ヲ為ス

5月25日 県医師会、宮城拝観

5月27日 前橋市県医師会事務処ニテ診療事業ニ関シ調査委員会開会出席

県医師会会員名簿ノ配布ヲ為ス

6月18日

県医師会臨時總會

場所 前橋商業會議所

開会 午後1時

三吉氏差支ニ付、栗原三郎氏ヲ代理ス

議題 簡易診療所

6月11日 書簡ニテ県医師会ヨリ看護婦養成実費160円小切手ヲ以テ送付セラル

6月29日 午後1時ヨリ前橋商業會議所ニ於テ継続臨時總會開会、三吉氏差支ニ付、栗原三郎氏ト出席

簡易診療所問題ハ無期延期ス

7月 日 栗原、本島旅費日当ヲ引去リ、大正11年度会費ヲ三吉氏県医師会ニ送付ス

十二指腸虫検査ノ件(学校医会延期ヲ要求スル事)

大正11年4月10日 近視ノ予防 警察部

大正11年4月9日 医師会長実費診療所ノ件

大正11年5月6日 ワイル氏病調査ノ件

大正11年10月2日 医業報酬ニ関スル件、警察部

大正11年3月18日付県医師会 3月11日実費診療所協議会

大正11年9月 警察部長、塩散モルヒ子譲渡ノ件

大正11年10月4日 警察部長、郡市医師会長塩散モルヒ子ノ件

大正11年9月30日 医生局長一知事一警部長一伝染病予防法規

大正11年10月 新田郡医生会長、コレラ予防宣伝ビラ

大正11年9月1日 関東北医師会出席方通牒

大正11年12月 大日本医師会出版、医学必携医事法規の件

大正12年1月10日 県医師会議決事項、栗原、本島出席

大正12年1月27日付、大日本医師会ヨリ照会の

1. 乳児及幼児ノ死亡率低減ニ関スル

2. 医師法改正ニ関スル意見

大正12年3月3日 横山衛生局長一山岡知事一警察部長一郡医師会長宛、衛生局年報一実費
配布ノ件

大正11年10月27日 警察部一衛生試験所製造医薬品譲渡ニ関スル件

大正11年10月24日 県医師会長、伝染病予防法施行規則ニ関スル件

大正11年11月5日 警察部 衛生局印刷物 お産ノお話

大正11年 共済生命保険

大正12年1月6日 警察部一国民ト結核、印刷物 代6銭希望

大正12年3月5日 衛生会、郡役所ト開催シテ衛生講習会

大正11年12月17日付 県医師会長一定期総会ニ関シ20日役員会ノ件

大正11年12月29日 県医師会長、総会開会ノ件

大正12年1月 結核病予防調査ノ件(謝罪スベキ事)

大正11年10月21日 塩散モルヒ子代払込ニ関スル件

1. 金3円18銭 荷造運送費 大正11年10月31日

2. 金5円 衛生講習会補助

金140円モルヒ子代受り、預金帳ニアリ

会員異動ノ件

岩崎死亡ノ件 弔詞

医事法規

岡君、永田君、栗原三郎君、横室君、木邨君、三吉君、永山健君、鈴木君、五十嵐君、
椎名君、那倉君、岡勝一郎君、飯塚三平君、正田君、荒木君、本島、小澤君
岡治道、横室、岡友、岸委任、深沢、服部

大正12年 5月18日 医事法規30部代金

1. 金10円50銭 大日本医師会出版部宛発送

1. 金八銭 振替料

大正12年 5月24日 結核患者調査ヲ取纏メ県医師会長ニ送付ス

五十嵐、本島、本島翁、椎名、塚越、岡文、岡治、三良、三房、那倉、正田、永田、
木村嘉、岸、碓氷

5月31日

死亡診断書用シ 4円50銭ヲ支出ス

大正13年 3月29日 定期医会総会

大正13年度通常予算

大正12年度決算

医事衛生事項

役員改選

13年 3月31日 診断書印刷費 3円50銭支払

14年 3月16日 定期総会

14年 2月 5日 関東北医師会負担金100円（返ル）

14年 3月 6日 薬剤士反対運動電報料 2円30銭

14年 2月18日 県医師会長代理トシテ出京費20円

14年 3月15日 全国医師大会出席、三吉、鈴木、本島三名旅費30円

14年 3月20日 日本医師共済保険会社ヨリ21円ノ寄付アリ之ヲ受取

14年 4月18日 三吉良作、同房三両氏会費ヲ支弁ス 10円

4月26日 五十嵐ノ宴会費、5円預ル

4月12日 関東北医師会出席者ニ勧誘、回章ヲ出ス

4月15日 関東北医師会負担金残金92円ヲ納入、受領証

4月24日 荒木氏関東北医師会費已納ナルモ欠席ニ関スル件

4月29日付日本医師会寄付金ノ件、督促、県医師会

4月26日 関東北医師会大会

5月14日付県医師会ヨリ金35円戻金

委員分 5円ツ、三吉、岸、栗三、本島 20円

会費払込欠席 荒木、岡勝、三房

5月29日 役員会ヲ大野屋ニ開ク、種痘、狂犬病注射ノ件

6月 1日 大野屋ニ懇親会会計ヲ為ス

6月 1日 薬価規約規定印刷料 7円50銭ヲ支弁ス

大正14年 7月 6日付医師会施設事業照会の件

衛生協会事業報告

大正14年9月11日 コレラ発生ノ通牒、衛生課長

大正14年8月22日 殉職町医、寄付金ノ件

大正14年8月3日 国議会速記録送付ノ件、県医師会

大正14年7月16日 医師報酬規程送付ノ件

大正14年12月 医政雑誌ニ関スル件、日本医師会

大正14年12月18日 衛生協会ヨリ交杯禁酒ニ関スル件

大正15年1月13日 県医師会役員会ニ関スル通知、^(マ)国手会ノ件

大正15年1月30日 県医師会開会の通知

大正15年11月 墨西哥古谷公使ヨリ通牒の件

大正15年2月2日付、赤十字巡回治療の件支部長

大正15年2月20日付県医師会決議録

大正14年6月22日 天然痘ニ関スル栗山博士講演送付通知

医事時論社医籍の件

武田長兵衛ヨリ照会ノ件

大正14年6月1日 規約書25枚代払 7円50銭

大正14年3月5日 医師共済生命保険寄付金 20円56銭

共済生命寄付金^(決)結算ノ件、処分の件

^(精)基本金成算の件

1. 大正15年4月6日 薬剤師法及同法施行規則の件ニツキ警察部長ヨリ通牒

2. 大正15年4月26日 斎藤寿雄県表彰の件ニツキ平野、黒沢氏ヨリ御通報ニ接ス

3. 大正15年6月10日 北海道庁管下拓植費補助開業医募集ノ件ニツキ通牒アリ

4. 大正15年5月20日付本年度郡医師会員負担金納付の件ニ通牒

「チプスの話」 小冊子配布ニ関スル件ニツキ警察部ヨリ通牒アリ

5月31日

大正15年7月2日

正田喜久治氏死亡吊詞及香料5円ヲ送ル(5円ハ支弁)

斎藤県医師会長銅像寄付金募集

黒田、鈴木、未決

県医師会々員名簿ヲ配布スル、実布希望血清偽造品ニツキ警察部長ヨリ

1. 大正15年5月19日付日本医師会総会報告及決議事項県医師会ヨリ送付セラル

1. 大正15年7月15日付正田政雄氏入会

1. 会員名簿及脚気調査表配布ノ件(大正15年8月14日配布ス)

1. 大正15年8月13日 脚気調査表ヲ配布ス

1. 大正15年9月11日 日本医師会ヨリ配布セラレタル医籍名簿ヲ各会員ニ配布ス

1. 大正15年8月10日付ヲ以テ県医師会長ヨリ健康保険ニ関シ通牒アリタリ

太田市医師会四十周年記念誌

1. 大正15年9月19日 チフス（^(ママ)ハンブレット）ヲ各会員ニ配布ス

大正15年9月16日 斎藤寿雄氏銅像の件ニツキ県医師会事務所ニ協議会アリ

大正15年9月13日 健康保険法令集ノ

大正15年9月8日付郡医師事業調査

大正15年9月8日付結核調査表配布（県警察部長より 依頼9月30日迄）

医学会入会者

木邨嘉吉 西邨定次郎 正田政雄 飯塚三平 黒田秀夫

長山健二郎 鈴木龍松 木邨 静 永田泰平

^(ママ)医師会々員

大正15年10月1日 県医師会事務所ニ於テ、保険法実施ニ関シテ協議会アリ出席

大正15年10月18日 大野屋ニ於テ講演会開催ニツキ協議ス

大正15年10月22・23日 日本医師会開会、県医師会代議員トシテ出席

大正15年11月27日 健康保険法医療救実施ニ付臨時県医師会開催

斎藤氏銅像寄付人名

岡 文造 永田泰平 黒田秀夫 岡 勝一郎 木邨嘉一

木邨 静 荒木之資 小沢忠三郎 竹内規矩造 岸 坤二

正田喜久次^(ママ) 塚越紀之^(善次郎) 五十嵐□□ 深沢範作 小管貞雄

戸崎久雄 那倉菊二郎 椎名良作 長山健次郎 西邨定次郎

岸 盛三郎 栗原三郎 飯塚三平 横室勘十郎 三吉房三

以上二円ツ、

三吉亮作君 本島自柳君 額 未定

不賛成

鈴木龍松 横室杏斎 正田政次 長山宮平 岡 友作

大正15年11月7日 新田郡医師会講演会開催、稲田博士来テ講演

大正15年11月19日 県医師会役員会ヲ県医師会事務所ニ開ク、健康保険医療救ニツキ

大正15年12月16日 健康保険ニ関シ臨時郡医師会ヲ開キ、終テ大野屋ニ懇親会ヲ催ス

昭和2年1月5日 群医第1号ヲ以テ健康保険組合ト個人的契約ナキ様注意アリタリ

群医第2号ヲ以テ日本医師会ト健康保険組^(ママ)ノ契約成立セル組合ノ通知アリタリ

昭和2年1月12日 医師会事務所ニ於テ診査部委員会ヲ為ス、協議事項ハ診療担当医ヨリ入

院治療ニ関スル協議ナリシ

昭和2年1月31日 県医師定期総会アリ、三吉氏欠席ニ付、予備議員栗原氏出席

昭和2年2月2日 太田町在住医師会員ト大野屋ニ於テ健康保険ニ関スル件ニツキ協議方晩

餐会ヲ為ス

昭和2年2月14日 稲田博士ヨリ50円返金セル内金25円ヲ岡治道君ニ送致ス

昭和2年2月25日 県医師会事務所ニ於テ健康保険報酬要求書審査会ヲ為ス、出席

昭和2年3月7日 太田町役場楼上ニ於テ報酬要求書ノ査定ヲ為ス、小沢、岡、三吉、本島

昭和2年3月27日 郡医師会定期總會ヲ開ク、

出席会員20名、会務報告、

大正14年度決算、昭和2年収支予算其他医事衛生ニ関スル件ヲ協議シ、終テ大野屋ニ懇親会ヲ開ク

3月31日 県医師会ヨリ保険ニ関スル疫病診断書其他ノ件ニツキ達示アリ、之ヲ会員ニ移牒ス

別紙質問書提出致候間、可然御取次相成度候也

昭和2年4月3日 新田郡太田町医師黒田秀夫

新田郡医師会長本島自柳殿

別紙

健康保険医療審査并報酬給付ニ関スル質問書

第1 保険医ノ提出スル診療請求書ノ期日ノミヲ厳ニシ報酬ノ給付ハ、其期日(翌月25日)ヲ超エルコト1ヶ月余モ遅延スルハ甚不都合ナリ、其理由如何

第2 何等ノ明示ナクシテ報酬金額ノミヲ送付スルハ保険医ヲ侮辱スルモ甚シキモノナリト信ス、如何

第3 減点セシ理由ヲ明記シテ診療請求書ヲ保険医ニ返還セラレタシ

第4 審査ニ際シ保険医ノ採点ニ関シ、何等ノ調査ヲ為サシテ単ニ想像ニ任セテ採点セシカ如ク思意セラル、ガ、如何

第5 審査ノ根本目的及其ノ標準ヲ発表セラレタシ

別紙之通保医黒田秀夫ヨリ質問書提出候間、県医師会并日本医健康保険部之御答弁を得度進達候也

新田郡医師会会長 本 島

群馬県医師会長

保険部長 斎藤寿雄殿

4月8日 於太田町役場3月分健康保険医診療報酬請求書ノ査定ヲ為ス、三吉、小沢、岡勝、本島参集

1. 金30円84銭 2月2日の分 大野や払

内金20円 会長交際費 会長交際費立替

内14円84銭 自分

6月7日 健康保険報酬要求書審査会ヲ役場楼上ニ開ク

昭和2年8月30日 臨時医師会總會ヲ開、県医師会館分担金収入支出の件

(証) 関部□之衛生会評議員選出の件、及関東北医師大会山形□紹出席勧誘方等ニツキ、終テ大のやニ懇親会ヲ開ク

昭和2年10月6日 児童展覧会の件ニツキ児童ヲ太田町在住会員ニ差出ス、児童展覧会ハ県

- 衛生協会、赤十字支部及社会課ノ主催ニテ10月7・8・9ノ3日間、児童診査ハ城見館、玩具展覽会場ハ大光院境内
- 昭和2年10月9日 健康保険診査後大野屋、栗原、小沢、岡、渋沢書記ト大野屋ニ晚餐、21
円47銭勘^(定カ)内金8円ヲ診査金当、内金13円本島寄付
- 昭和2年11月8日 農会事務所ニ於テ10月分診査報酬ヲ為シ、岡、小沢、栗原、本島出席、
此日程□□医会合アリ、終テ大のや晚餐会々費5円
- 昭和2年11月18日 桐生市浜松町2丁目栃木喜和次氏、笠懸邨出張届出アリ
- 昭和3年
- 1月12日 新田郡医師会員新年宴会ヲ開ク、会員17名
来賓太田警察署長及次席警部中島□者、渋沢書記
此日健康保険報酬診査会ヲ為ス、欠席者ナシ
- 1月17日 群馬県医師会評議員会ヲ同会館ニ開ク、群馬県医師会館開館式挙行ニツキ協議ス
ル処アリ、其費用ハ市部会員ハ1名3円、郡部会員ハ1円50銭
其基準ヲ以テ予算ヲ見積リ挙行スル事
- 1月31日 群馬県医師会定期総会ヲ県医師会々館ニ開キ、昭3年度収入支出予算及役員選挙
アリ、三吉、本島出席
- 同年2月8日 於新田郡役処、健康保険部1月分報酬請求書診査ヲ為ス、三吉、岡、小沢、
栗原、本島出席
- 昭和3年4月30日 乳幼児愛護デーニ関シ各会員ニ通牒セリ
- 昭和3年5月8日 健康保険報酬診査ヲ郡農会ニ開ク、役員全員出席（此日中島飛行機遭難
者葬儀）
- 昭和3年5月9日 東毛看護婦会看護婦講習証書授与式ヲ行ヒ、5月15日より医師会主催ノ
許ニ之ヲ継続スベク協議ヲ為シ、終テ大野屋ニ狩野署長及産婆3名ヲ招待シテ、晚餐会
ヲ開ク
大野屋ノ会計45円 20円本島寄 25円 太田在住医師10人割
- 5月10日 県庁衛生課ニ電話ヲ以テ左ノ件問合セタリ
○看護婦養成ニ届出ヲ要スルヤ
○看護婦、産婆養成教科書
又山田、佐波ニ規則書ヲ要求セリ
- 5月4日 県警察部ヨリ乳児死亡原因調査及マラリア予防成績ノ印刷物配布アリ
- 5月21日 県医師会館ニ於テ健康保険請求書診査会アリ、同日県医師会報費204円ヲ納ム
- 6月8日 新田郡農会ニ於テ5月分報酬診査会ヲ全員出席
- 6月19日 県健康保険部報酬診査会アリ出席
金41円90銭 自 昭和2年9月 組合事務費
至 昭和3年3月 送付ノ通知

- 6月22日 昭和3年度県医師会128円ノ分担金通知アリタリ
- 10月8・9日 日本赤十字^(マ)支部児童健康相談所ヲ城巳館ニ開設
- 10月17日 道府県聯合保険部協議会ヲ県医師会館ニ開ク、北島部長及内ヶ崎法学士出席(旅費ハ郡事務所ヨリ受取ル筈)
- 昭和5年12月27日 於県医師会館郡市医会長ヲ会シ、県保険課長ヨリ労務不能ノ意見ヲ付スルニ当リ懇談スル処アリ、旅費ハ3円ヲ支弁、受取済
- 昭和6年3月13日 税務署ニ所得税ニツキ、小沢、岡理事ト共ニ陳情スル処アリ、
 汽車代2円10銭、自動車代50銭立替
- 昭和6年8月11日 健康週間実施事業慰労会ヲ尾島町ニ開キ、30円ヲ支出ス^(通)
- 昭和6年9月8日 三吉、栗原、小沢と晚餐、8円20銭ヲ支出ス
- 昭和6年10月 健康被保険者寄生虫検査助手練習出県、旅費金10円ヲ成田ふじ子ニ渡ス
 金75銭 昭和6年11月4日群馬社行自動車代
 金10円 11月27日 成田氏ニ渡ス
 金5円50銭 11月26日 尾島群馬東工場往復自動車代
 26円25銭 12月31日済、受取
1. 金3円72銭 健康被保険者寄生虫検査費下付ニ付、慰労会不足額支出
 昭和6年12月30日
1. 金10円也 コッポ氏結核菌発見50年記念祝賀費郡部医師会トシテ受取
 2月8日 中邨経二氏ニ渡ス
- 昭和7年11月11日
1. 金20円也 健康保険週間、慰労会補助、昭和9年3月18日受取
1. 金5円也 永山宮平氏香料、昭和9年3月18日受取
1. 金2円也 自動車代、受取
1. 金7円也 交際費、7年度分、受取
1. 金40銭 至急電話前橋
1. 金2円50銭、昭和9年10月2日、県医師会、保険課長ト秘密協議会
1. 金3円也 特別大演習救護班ニ関シ協議会出橋費
- 12月14日 金5円 深沢氏悔、受取
- 〃 3円 同自動車、受取
- 1月 金50円 交際費 入
- 1月24日 金5円35銭 日本ハ社会□ト戦ハサルベキカ 35冊代、
 金10円也 金松博士□□会
- 6月18日 50銭 飛脚 □海孝蔵
- 6月19日 50銭 〃 車夫寅弘^(カ)
- 6月20日 17円84銭 健康保険課長勸送費

6月28日 5円50銭 診療簿受診簿代立替

6月30日 6円 健康保険課長自動車代

受入の部概要

9, 7, 25	23,79	昭和9年4月分事務費、天笠書記ニ渡
9, 7, 25	62,69	同年1・2・3月組合事務、同人ニ渡
9, 7, 25	66,00	昭和8年下半期半年、看護婦養成費
9, 12,	90,	
10, 1, 2		昭和9年上半期
昭和11年分	金10円也	北里図書館寄付金
昭和12	金5円也	柳理太郎氏ニ香奠
	金2円也	自動車代
	金1円也	役場小遣
	金5円	衛生法規
	金23円60銭	大野屋料理
	金50銭	飛脚2回費
13年度	金10円	結核療養所
	金10円	斎藤寿雄ニ花環
	金5円	自動車代ノ内富岡行
	金2円	国産品対照 ^(ママ) ハンプレット

支払命令

7月25日	900	江原県医師会書記退職ニツキ
7月25日	15,300	郡医師会負担金
2月4日		館林税務署長ヨリ照会ノ件
2月6日		県医師会事務費送付書ノ件
2月4日		日本赤十字社群馬支部ヨリ通牒の件
2月5日		県医師会、薬局方新版希望者ノ件
2月1日		松井群三君入会ノ件、
		軍人遺家族施療ノ件ニツキ

(群馬県新田郡綿打村役場22行野紙ニ書留メラレタモノガ挿入サレテイタ)

「大正12年度事業状況左ノ如シ

9月10日 震災罹災者ニ対シ無料診療ヲナス旨通告ヲ発ス

11月3日 京浜震災罹災者ニ義援金募集方依頼越ニ付、各会員ノ御同情ニ依リ、金67円寄付

アリタルニ依リ、11月7日県医師会ニ送付ス、

会員ノ異動 太田町岡治道君 東京ニ退去、綿打村西村定次郎氏入会ス

」

会務報告

1. 会員異動ノ件

○永山見龍君死亡

○入会者 齊藤信三郎、西邨、朝日豊作氏

1. 結核統計ニ関スル件

1. 震災ニ関スル件

1. 県医師会総会ニ関スル件 (負担金)

1. 衛生協会設立ニ関スル件

1. 関東北医師会ニ関スル件

1. 永山健次郎氏表彰ニ関スル件

1. 大日本医師会ニ関スル件